

Topics

1年の感謝の気持ちを詰め込んで

12月24日、道の駅森の三角ぼうしで「年末謝恩祭2017」が開催されました。

この日、鬼北町特産のきじを使用した串焼き、うどんやメンチカツのほか、栗を使ったお菓子など、町内外からさまざまな店舗が出店。また、毎年好評の「杵つき餅」の実演販売に合わせ、特製ぜんざいの販売も行われ、大勢の来場者で賑わいました。寒空の中、ずらりと並んだ温かい食べ物が、訪れた人の体を温めていました。

さらに、会場に設置された特設ステージでは、優勝商品年末ジャンボ宝くじ100枚を懸けた「鬼王丸杯鬼北王クイズ大会」や、司会者とじゃんけんをして勝ったら、サイコロの出た目の数だけお菓子のつかみ取りができる「大じゃんけん大会」、そして、「むっしゅみの吉」さんによる大道芸ショーなどが行われ、年の瀬のイベントを大いに盛り上げていました。



(写真上)大道芸人むっしゅみの吉さんが来場者と皿回しを披露。盛大な拍手が送られた
(写真左)大じゃんけん大会の様子。司会者に勝ち、笑みを浮かべる参加者

Topics

新年を気持ちよく迎えられるように、願いを込めて…



▲老人クラブの方に優しく手伝ってもらった児童

12月25日、日吉小学校で、日吉老人クラブの皆さんとともに、しめ縄作りが行われました。

1年を締めくくるにふさわしい、毎年恒例のこのしめ縄作り。児童たちは、老人クラブの皆さんから、しめ縄に飾り付けられている「わら」「うらじろ」「ゆずりは」「だいたい」のそれぞれの意味を教わったあと、しめ縄作りに挑戦しました。

児童たちは、慣れない作業に悪戦苦闘の様子でしたが、老人クラブの皆さんに手伝ってもらったり、コツを伝授してもらったりしながら、立派なしめ縄を完成させていました。

Topics

世界にたった一つだけの土鈴の出来上がり

1月4日、児童クラブで毎年恒例の土鈴づくりが行われました。

この日は、わかば作業所の職員らが講師として参加。児童たちは、時折、職員らからアドバイスをを受けながら、平成30年の干支である「戌」をかたどった白い土鈴に、絵の具を使って思い思いに色付けしたり、模様を描いたりしながら、色鮮やかな土鈴に仕上げていました。

完成した個性溢れる土鈴を手にも、児童たちは満足そうな表情を浮かべ、先生や友人らに自慢げに披露していました。



▲慎重に土鈴に色を塗る子どもたち